

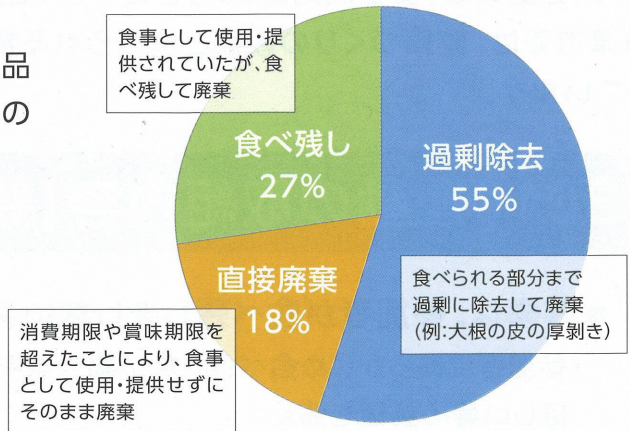
# 食品ロスの約半分は一般家庭から

621万トンの食品ロスのうち、282万トンは、一般家庭からのものです。

食品ロス(621万トン)から日本人一人当たりの食品ロス量を試算すると、「お茶碗約1杯分(約134g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

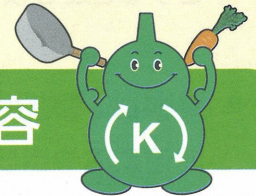


家庭における食品ロスの内訳



出典:農林水産省「食品ロス統計調査・世帯調査(平成26年度)」を基に消費者庁にて作成  
★食品ロスは、「食品が食用に供された後に、又は食用に供されずに廃棄されたもの。」

## 3010運動以外の食品ロス対策の取組内容



ごみ問題を考える草津市民会議  
キャラクター クルリーナ

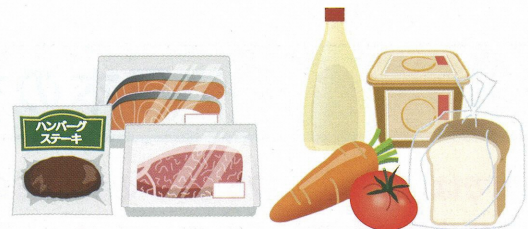
### ■ 食材は必要な量だけ購入し、使い切る! 食べきる!

- ・不必要な物・量を購入しないよう在庫をチェックし、必要なものをメモして買い物に出かける。
- ・野菜や果物の皮の厚剥きなどに注意し、余った野菜の皮などの調理も検討する。
- ・食べる人の適量を把握して料理する。



### ■ 「賞味期限」と「消費期限」を正しく理解する!

- ・「賞味期限」(おいしく食べられる期限)と「消費期限」(食べても安全な期限)の違いを理解し、それぞれの食品の状態を確認しながら、食べられるかどうか判断する。
- ・必要に応じて冷凍保存して後日食べる。



### ■ 食品ロス削減を広める!

- ・家族や友人など身近な人達と食品ロスについて話し合い、自ら実践してみせる。



問合せ先

ごみ問題を考える草津市民会議

(事務局:草津市環境経済部くさつエコスタイルプラザ TEL:077-561-6580)